

《ライムアート YASURAGI III》2018年 第49回新美展(新生美展) 新美大賞 新見公立大学



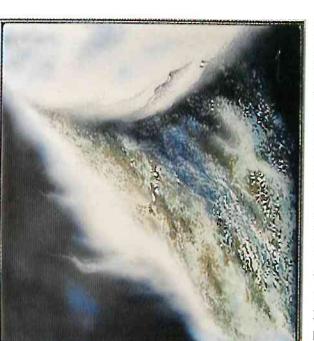
《ライムアート YAWARAGI》2005年 第35回新美展 優秀賞

浪崎文彰 ライムアートの世界

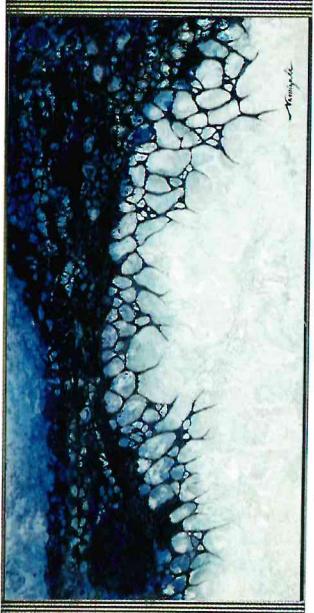
新見市的主要産業は石灰工業で、石灰を英語で「ライム」と呼びます。その石灰を使ったアート作品を「ライムアート」と名付け、芸術にまで昇華させた創作活動を行っているのが浪崎文彰です。

浪崎は、型押しによる石灰の凹みに染色した石灰を伏せ込み磨きだすといった、独自の技法を用い、空気中の二酸化炭素を吸収しながら硬化していく石灰の特性によって、表面にカルサイトという硬質なガラス質の結晶が形成されることで、壁画や大理石を思わせる独特なマティールを作り出しています。

本展覧会では、浪崎文彰氏のライムアート作品およそ50点により、令和時代にふさわしい新しいジャンルの美術、ライムアートの世界を紹介することで、石灰の町新見が官民一体となり、市の財産である石灰を今後いかに活かした町づくりを行っていくか、それを問う展覧会となれば幸いです。



《ライムアート YASURAGI II》2008年 新見公立大学



《ライムアート HIBIKI I》2006年 第37回新美展 内閣総理大臣賞



《ライムアート HIBIKI / TAKI I》2011年



《ライムアート YASURAGI II》2008年 家庭画報大賞 ウエッジワッジ賞



《ライムアート HIBIKI》2005年 ポケットガーデン I 第1駐車場

■浪崎文彰オープニングスペシャルトーク
日時：11/123 [土・祝] 10時～10時40分

■パネルディスカッション
「ライムアートなど石灰を使ったまちづくり」

日時：11/123 [土・祝] 11時～12時

会場：新見美術館市民ギャラリー

コーディネーター：公文 裕巳 氏(新見公立大学学長)

パネリスト：浪崎 文彰 氏(ライムアート作家・一级建築士)

道綱たけし 氏(ライムアート作家)

岡本 直行 氏(新見公立大学教授・彫刻家)

山崎 靖幸 氏(新見ライオンズクラブ会員)

藤井 茂樹 (新見美術館学芸員)

■石灰を使ったワークショップ

「フレスコ画(漆絵画)を描こう」

日時：11/123 [土・祝] 13時30分～16時30分

講師：道綱たけし 氏(フレスコ画家)

会員：新見美術館市民ギャラリー

定員：6名程度

会員料：500円(材料費)

※材料料はすべてこちらでご用意します。

汚れてもよい服装をご用意ください。

内容：新見産の石灰を使い、色の楽しさ、難しさを体験しながら、添え下地の魅力を感じいた

だくワークショップです。

新見美術館

NIIMI MUSEUM OF ART

〒718-0017 岡山県新見市西方361
TEL・FAX (0867)72-7851
<https://www.city.niimi.okayama.jp/usr/art/>